



TATEIL THAT EXCEEDS TATEIL

## 標準施工仕様書

屋根用遮熱色



|      |   |
|------|---|
| 製品名  | タテイル2 屋根用遮熱色  |
| 種別   | 油性2液弱溶剤形有機HRC塗料   |
| 荷姿   | 16kg/セット  |
| 用途   | 一般屋根  |
| 適用基材 | コロニアル、カラーベスト、波形スレート、セメント瓦、乾式洋瓦、釉薬瓦、カラー鋼板、フッ素鋼板、ガルバリウム鋼板、塩ビ鋼板、亜鉛メッキ鋼板、アルミニウム、ステンレスなど |

| 工程   | 材料   | 調合  | 所要量/m <sup>2</sup> /回<br>(塗布面積/セット/回)   | 施工器具         | 塗回数 | 間隔時間<br>(23℃) | 可使時間<br>(23℃) |
|------|--|-----|---|--------------|-----|---------------|---------------|
| 素地調整 | ①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。<br>②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。<br>③塗装面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。 |     |   |              |     |               |               |
| 下塗り  | 無機有機ハイブリッドEPO(ホワイト)  |     |   |              |     |               |               |
| 上塗り  | タテイル2<br>(屋根用遮熱色)  | 主 剤 | 14kg                                    | 刷毛<br>中毛ローラー | 2   | 4時間以上<br>7日以内 | 4時間以内         |
|      |  | 硬化剤 | 2kg                                     |              |     |               |               |
|      | PXシンナー   |     | 5~10%                                   |              |     |               |               |
|      |  |     | 0.12~0.16kg<br>(100~133m <sup>2</sup> ) |              |     |               |               |

## 注 意 事 項

- 塗料の使用期限は未開封の状態で水性製品、水溶性溶剤製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。
- アスファルトシングルへの塗装は避けてください。
- 下塗りについては無機有機ハイブリッドEPOの標準施工仕様書をご確認ください。
- 乾式洋瓦はターボノズル等を併用しながら150kgf/cm<sup>2</sup>以上の圧力で入念に洗浄してください。着色スラリー層が除去できていることを確認したうえで無機有機ハイブリッドEPOを2回塗りしてください。
- タテイル2は2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌してください。
- 所要量は厳守してください。所要量が少ない場合、点錆の発生、耐久力の低下、色相の違い、隠ぺい力の低下及び遮熱効果が十分に発揮出来ない恐れがあります。
- タテイル2は必ず2回塗りで仕上げてください。
- 2液反応硬化形は塗料ごとの可使時間以内に塗装してください。小分けする場合は十分攪拌して均一な状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因になります。
- コロニアル、カラーベスト等の重なり部分に塗料が付着し詰まっている箇所は皮すき・カッター等で除去してください。漏水の原因になります。
- タテイル2は弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を遵守してください。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- 施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合、常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けてください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた衣類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を遵守し、産業廃棄物として処分してください。(排水溝・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

